

# AIおよびWEBカメラを活用したホテル佐勘忘れ物管理DX実証事業

## 現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・秋保温泉エリアは首都圏からのアクセスの良さと豊かな自然環境を背景に、年間を通じて多くの旅行者が訪れる観光地である。地域には複数の宿泊事業者が点在し、観光産業の重要な担い手となっている。
- ・一方、地域内の宿泊事業者では、忘れ物対応が紙台帳や電話確認等アナログな作業に依存しており、業務負荷が高く、返却率も40%にとどまる等、非効率な運用が常態化している。
- ・本事業では、画像認識AIや音声認識AI、ウェブカメラ、PMS連携の技術を活用し、忘れ物対応業務の自動化と精度向上を図ることで、業務効率化と顧客満足度の向上を実現する。
- ・実証を通じて、秋保温泉エリアにおける標準的な忘れ物DXモデルを確立し、地域内宿泊事業者の収益性と生産性を底上げするモデルを確立する。加えて、秋保温泉エリア全体への横展開を進め、将来的には県内他地域への普及を目指し、地域全体の観光産業のDX化や持続的な発展に貢献する。

## 事業概要

本事業は、株式会社ホテル佐勘を中心とした秋保忘れ物DX推進コンソーシアムが、宿泊事業者における忘れ物対応業務のDX化を図る取組である。画像認識AIによる分類、タグ付け、自然言語処理AIによる本人確認、ウェブカメラによる撮影、PMSとの連携による通知自動化等を組み合わせた統合的な忘れ物管理ソリューションを導入し、業務効率化と顧客満足度向上を同時に実現する。年間約2200時間の業務削減を見込み、秋保温泉エリアから県内宿泊事業者への普及を視野に入れた地域活性化モデルとして実証を行う。

取組地域：宮城県仙台市

コンソーシアム名：秋保忘れ物DX推進コンソーシアム

代表事業者：株式会社ホテル佐勘

## 実証内容

1. 画像認識AIによる忘れ物の自動分類やタグ付け、宿泊者への自動通知による業務効率化
2. 音声分析AI、自然言語処理AIによる本人確認精度の向上
3. ホテル内における承認作業の内製化による業務効率化とセキュリティ強化
4. オンラインでのチップ受け取りによる新たな収益の創出

## 目標値

**KGI** 忘れ物対応月間工数の削減(40時間)

**KPI** 忘れ物1件あたりの対応時間の削減(8分)

